

基本方針の策定にあたって

1) 埋蔵文化財展示室更新の目的

展示室はこれまで、収蔵物を公開する企画展示、体験コーナーなど普及啓発事業の中心として、多くの市民に利用されています。しかし、開館から20年が経過し、施設の老朽化とともに、展示内容の旧態化も目立ってきており、近年の埋蔵文化財の調査成果を活かした展示室の全面的更新が求められています。

2) 埋蔵文化財展示室更新事業の位置付け

第3次札幌新まちづくり計画

【政策目標5】 市民が創る自治と文化の街

[重点課題2]

『多彩な文化芸術の創造とスポーツを楽しみ健康づくりを推進するまちづくり』



観光文化局実施プラン

局の運営方針

「優れた文化遺産や自然遺産を適正に保存し、伝承していくとともに、
集客交流資源として積極的に活用する」

まちづくりの施策[重点施策2]

『札幌の特色を活かした文化芸術の振興』



【埋蔵文化財センター展示室更新事業】基本方針策定



埋蔵文化財展示室更新 基本計画



設計・施工・リニューアル

本事業は、「さっぽろ元気ビジョン第3ステージ」に掲げる「まちづくりの基本的な方向」を実行に移すためのプランとして、長期総合計画の方向性を踏まえながら、優先的・重点的に実施する施策・事業を定める「第3次札幌新まちづくり計画(計画期間:平成23年～平成26年)」において、政策目標「市民が創る自治と文化の街」、重点課題「多彩な文化芸術の創造とスポーツを楽しみ健康づくりを推進するまちづくり」に位置付けられたものです。

3) 基本方針の策定から展示室更新までの流れ

